

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

【モメンタム加速への期待】

石破新政権が発足し、これからも色々と政局優先の展開になりそうですが、経済政策について岸田前政権の方針が継続されそうです。「新しい資本主義実現会議」も月末に招聘されました。当日、私がお伝えした内容は下記になります。

過去3年間、新しい資本主義実現会議から生じた重点施策により、世界から見る日本に著しく変化があったと実感しており、石破政権において、このモメンタムが加速することを強く要望いたします。特に、以下の3点の観点から世界に注目されたと思っています。

【新NISA】

特に、つみたてNISAの改正は、多くの若手世代による長期的な資産形成の意欲を高めました。一方、海外株式ETFへの投資に偏っている課題もあります。

そのため、海外事業に積極的に展開する日本のグローバル企業へのアクティブ・ファンドへの投資によって世界の成長を取り込めるという選択肢があることを、新設されたJ-FLECなどの活動を通じて全国に広めることが重要だと思っています。

また、短期的な利益にとらわれず、企業と投資家により、建設的な対話を通じて、財務・非財務の包括的な企業価値の可視化を増進する、双方の「エンゲージメント」の質の向上を促進すべきだと思っています。

【人的資本】

日本初の「人的資本の向上」の着眼点は、ISSB（国際サステナビリティ基準審議会）の次期検討事項になるなど世界を動かしたと私は思っています。

およそ150年前に途上国であった日本は、人的資本の向上により数十年ぐらいかけて当時の先進国に仲間入りを果たしました。敗戦後の焼け野原から、再び人的資本の向上により世界第2位の経済大国を築いたことも同様です。

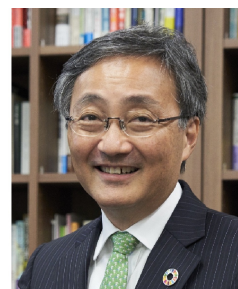
明らかに新しい時代に入っている日本において、人的資本の向上は不可欠です。そして、日本企業と社会の価値創造の源であることを石破政権でコミットメントを示していただきたいです。

人的資本の土台は健康な国民です。日本政府が企業と協働して10年以上取り組んでデータで示す「健康経営」は、世界でまれな実績です。国外発信の意識をさらに高めるべきであり、また、従業員の身体の健康のみならず、メンタルヘルスを支える対策の予算化も検討すべきです。

【インパクト投資】

環境・社会課題の解決の意図と財務的リターンを両輪として求める投資であり、私はちょっとバイアスがかかっていますけれども、これは「論語と算盤」の現代意義だと思っています。

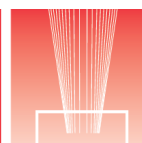
日本のインパクト投資の取り組みが世界から非常に注目されているということをここで示し、このモメンタムをぜひとも継続させていただきたいと思っています。



取締役会長 渋澤 健

■第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」日本株式部門 最優秀賞 受賞！

Morningstar Awards2023©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.
コモンズ30ファンドが日本の国内株式部門のモーニングスター・ファンド・アワード最優秀賞を受賞



Awards
2023™



基準価額の推移

2009年1月19日 ~ 2024年10月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、純資産総額が500億円までは年率1.078%（消費税込）、500億円を超える部分は年率0.979%（消費税込）、1,000億円を超える部分は年率0.869%（消費税込）、3,000億円を超える部分は0.748%（消費税込）となります。



運用実績

2009年1月19日 ~ 2024年10月31日

基準価額

49,541 円

(前月末比)

+502 円 (1.02%)

純資産総額

641.7 億円

(前月末比)

+12.7億円 (2.03%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	1.02%
3ヵ月	△3.53%
6ヵ月	△6.28%
1年	15.86%
3年	25.02%
5年	73.68%
10年	156.48%
設定来	440.81%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
2023年1月	0円
2024年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	96.7%
その他	3.3%

未来コンセプト別比率

ウェルネス	16.4%
生活ソリューション	15.4%
精密テクノロジー	14.0%
新素材	11.0%
快適空間	9.7%
資源・エネルギー	8.4%
地球開発	6.7%
未来移動体	6.5%
社会インフラ	4.9%
ライフサイクル	3.6%
その他	3.3%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	5.1%
2 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.9%
3 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.5%
4 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	4.4%
5 旭化成	新素材	絶え間ない事業転換を続ける伝統企業	4.3%
6 セブン&アイ・ホールディングス	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	4.2%
7 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	4.2%
8 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.1%
9 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	4.0%
10 任天堂	生活ソリューション	娯楽を通じて人々を笑顔にする会社	3.8%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

10月のファンドの月間リターンは+1.02%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

10月の内外株式市場は、米国の主要株価指数が過去最高値を更新しましたが、過度な利下げ期待の後退や中東情勢の悪化などもあり、世界的に神経質な展開となりました。一方、国内市場では、衆議院選挙で自民・公明が過半数割れになったことで、政策に不透明感が出てきました。また、為替市場では当月約10円幅でのドル高/円安となり、1カ月の円の下落幅としては約35年ぶりとなりました。業種別では、東証33業種のうち銀行業、医薬品、電気・ガス業が騰落率上位、鉄鋼、パルプ・紙、化学が下位となりました。

当ファンドは、月間で+1.02%の上昇となりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.88%、日経平均株価は+3.06%の上昇となりました。

投資先29銘柄中、16銘柄が値上がりし、13銘柄が値下がりました。上場来高値を更新した銘柄は2銘柄、年初来高値を更新した銘柄は5銘柄ありました。

個別銘柄の月間騰落率では、ディスコ+18.62%、エムスリー+10.26%、日東電工+7.12%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、資生堂▲13.29%、LITALICO▲11.72%、東京エレクトロン▲7.47%となりました。

株式の組入比率は96.7%と前月比▲1.2%の低下となりました。当ファンドの組入銘柄数は変わらずの29社となっています。

当面は、米国大統領選挙後の新政権での政策に注目が集まります。国内でも不安定な政権基盤の中での政策や日銀の金融政策が注目されています。季節的には、年末年始にかけて、例年株式市場は堅調な展開が多いですが、不確実性の高い環境下での市場の動向には注視してまいります。引き続き、NISAのつみたて投資枠と成長投資枠の対象となっている数少ない国内アクティブファンドである当ファンドをよろしく願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2024年10月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/h6KvpSD-igQ>

2024年10月次運用報告動画



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (6146) ディスコ

ディスコの2025年3月期第2四半期（7－9月）の決算は、前年同期および前期（4－6月）を上回る増収増益で好調な内容となりました。スマートフォンやPCなど半導体の最終用途需要が低迷し、EVシフトも鈍化する一方、生成AI向け装置の出荷が引き続き高水準を維持し、四半期ベースで過去2番目の高出荷額となりました。消耗品売上も顧客の稼働率上昇を背景に過去最高を更新しています。生成AI向けの高付加価値案件の比率が増加し、収益性が比較的低い量産用途の回復が遅れていること、円安の影響などから、売上総利益率は70%を超え、過去最高水準となっています。地域別では、半導体投資を強化している中国向け出荷が引き続き高水準を維持しています。

2025年3月期第3四半期（10－12月）も好調が見込まれるものの、為替の影響や来年以降の生成AI関連の受注動向については慎重な姿勢が見られます。一方で、生産現場はフル稼働が続いており、**今後も設備投資や人員採用など生産能力の増強を継続していく計画**です。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (8002) 丸紅

丸紅の2025年3月期上期の当期利益は2,381億円、前年同期比5%減益となりました。通期計画の4,800億円（前期比2%増）は変更しておらず、**通期計画に対する進捗率は50%で推移**しております。年間配当金予想は1株当たり90円で期初計画から変更ありません。

今上期のセグメント別の当期利益の動向ですが、前年同期比で増益となったのは、金融・リース・不動産と電力、フォレストプロダクツなど、減益となったのは、金属セグメントおよびアグリセグメントなどです。金融・リースでは、航空機リース事業が黒字転換、電力では発電事業が順調です。フォレストプロダクツでは、インドネシアの森林業が伸びています。一方、アグリセグメントの中心となる、アメリカにおける農業資材販売のヘレナ社は事業環境の悪化で苦戦しています。また、金属セグメントでは、オーストラリアの鉄鋼原料事業が低調な推移です。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (7366) LITALICO

LITALICOが発表した2025年3月期第2四半期決算は、第2四半期までの累計で、売上高は前年同期比15.5%増と伸長していますが、営業利益が同15.9%減となり、通期の営業利益計画も45億円から33億円へと下方修正したことで株価も下落しました。

児童福祉領域において、報酬改定に対するために支援プログラムを変更したところ、施設の稼働率が一時的に低下するとともに社内でのオペレーションにも混乱が生じたことで、収益性が悪化したものです。会社側は、来年度以降は支援プログラムを従前のものに戻す方向性を打ち出しており、それによって収益性も回復する蓋然性が高いと考えていることから大きな懸念は感じていませんが、一方で報酬改定という今後も定期的な実施される制度変更に対してどのように対処するのか、という点においては課題を残したと捉えています。利用者のニーズが高い状況は変わっていませんので、**いち早くオペレーションを立て直して事業としても成長軌道に回帰してもらいたい**と思っています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



コモンズ30塾統合レポートワークショップ 投資先企業「楽天グループ」との対話

2024年9月18日、コモンズ30ファンド投資先企業「**楽天グループ株式会社**」をお迎えしてコモンズ30塾「企業との対話」統合レポートワークショップを行いました。

セミナーは冒頭、代表の伊井から、楽天グループに投資をした意味をお伝えするところから始まりました。運用チームでは、運用開始時から「インターネット関連に投資するとしたらどの会社が良いか」を議論していたそうですが、その時の1社が楽天グループでした。投資するに際して、三木谷会長兼社長にお会いして話をしたところ、「うちはIFRSで財務を見て下さい」と言われて、伊井は「ああ、この会社はこれから積極的にM&Aを行っていくのだな」と思ったそうです。高いバリュエーションで資金調達を行い、バリュエーションの低いビジネスに積極投資する。そのビジネスモデルの特徴を理解し、楽天グループへの投資を始めています。



楽天グループ・松浦さま

続いて、楽天グループから統合報告書の説明がありました。楽天グループのミッション「**イノベーションを通じて、人々と社会をエンパワーメントする**」は統合報告書においても議論の出発点となった重要なポイントだそうです。エンパワーメントは人々、社会、地域のコミュニティの夢や挑戦を後押しするという意味合いが込められているとのことです。

ビジョン「**グローバルイノベーションカンパニー**」の解説の後、楽天グループの歩みの説明です。M&Aを通じて成長してきた様子を説明いただきました。2000年に上場し、2006年に楽天エコシステム構想を発表。2010年には社内公用語の英語化を発表し、2012年から開始しています。ちなみに、楽天グループの社員は全員がTOEIC最低800点を課されているそうです。このように、常に成長を続け、2023年には売上高2.1兆円を達成しました。

続いて、2023年度統合報告書の概要の説明がありました。テーマは「**Pathway to Growth**」、制作方針としては、①楽天グループの目指す姿と現状とのギャップ、そしてギャップを埋めるための打ち手の明示、②楽天グループの特徴（課題解決型企業、エンパワーメントカンパニー）を含め俯瞰的に表現可能な価値創造プロセスの構成、③（①に関連して）非財務情報の拡充・指標の数値化、④楽天らしさ（エンパワーメント）の表現、の4点だそうです。

その後は楽天グループ×コモンズでトークセッションを行いました。担当アナリストの上野より、「**楽天主義**」という価値観についてや、なぜ社内公用語を英語にしたのか、そして、楽天グループ社員から見た三木谷会長等、様々な観点から質問を行いました。



トークセッションでの一コマ



ワークショップでの一コマ

トークセッションの後には、参加者同士でグループになり、統合報告書やチェックシートを手に取りながらワークショップを行いました。

統合報告書の冒頭にある三木谷会長のメッセージには「**ビジョンが分かりやすい日本語で語られている**」といったコメントがあった一方で、価値創造プロセスマップについては、「**抽象的な印象**」、「**イメージがしづらい**」といったコメントもありました。全体的には、**成長期待が持てる内容で良い**といったコメントもありました。

今回の統合レポートワークショップでは、様々な気づきがあったように思います。楽天グループならではの成長が垣間見えたと思いました。

詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.common30.jp/contents/dialogue/5070/>

マーケティング部 齋藤 亮



コモンズSEEDCapからのお知らせ

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら
→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

【御礼！第16回コモンズ社会起業家フォーラム】

10月6日（日）文京学院大学仁愛ホール（東京・文京区）にて第16回コモンズ社会起業家フォーラムを開催しました。

今年も、11人の社会起業家が7分間スピーチでそれぞれの物語を届けてくださいました。

今回のスピーチのテーマは、「あなたは、今、何を守りたいですか？」。

*以下URLより各社会起業家のスピーチをご視聴いただけます。

<https://www.common30.jp/fund30/entre/>

当日は、第15回コモンズSEEDCap応援先 NPO法人アクセプト・インターナショナル永井陽右さんに対する授賞式も行いました。

会場には約200名の参加者が集まってくださり、自分たちの社会にいったいどんなことが起きているのか、自分たちの暮らす国や世界において、何が守られていないのか、社会起業家のみなさんのメッセージを通して、想いを巡らしてくださいました。

中にはより良い明日を願って、自身のアクションのきっかけを見い出してくださっている方もいらっしゃいます。

またフォーラムと同時進行でこどもトラストセミナーも開催。

ぜひ以下ブログより当日の様子をご覧ください。

【社会起業家フォーラム御礼 | 関心の灯を持ち寄って】

<https://www.common30.jp/contents/newsletter/5067/>

【社会課題を知り、未来をつくるーこどもトラストセミナー寄付編】

https://www.common30.jp/contents/classroom_okane/5103/

ご参加くださったみなさま、ご関心を寄せてくださったみなさま、そして開催に向けてご協力くださったすべてのみなさまに、心より御礼申し上げます。



ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

統合レポートワークショップ 日経統合報告書アワードグランプリ受賞「東京応化工業」との対話

東京応化の方々のプレゼン、コモンズ投信の方々のご対応、参加者の皆さんの取り組み方など全体の雰囲気
が非常によかった。(50代・男性)

ひとりだと統合報告書を開こうと思わないが、このような機会があったので、初めて読んだ。文章で読むより、動画も交えてお話があったので、わかりやすかったです。とても小さな単位の話だということが理解できました。(30代・女性)

第16回コモンズ社会起業家フォーラム

コロナ禍の前にスタイルに戻し、緊張感ある時間を圧縮して提供されたこと。また、交流タイムでの各起業家のブースの設置場所や全体のレイアウトを工夫された結果、短時間で多くの交流が生まれたと思われること。(60代・男性)

初めて参加させて頂きました。各スピーカーの熱量にびっくりです。若い人達の頑張りが素晴らしいだけでなく、ベテランの方々も奮闘しているのを肌で感じました。(60代・男性)

聞く方の立場から…登壇者ひとりのちょうどよいスピーチ時間で、他方面の方々の話をお聴きする事ができ、また終わった後に懇談会の時間を設けてあることで、自身の興味がある方や感動した方などと、直接お話が出来たことがとても有意義でした。(50代・女性)

コモンズ投信運用報告会

伊井社長はもちろんのこと、スタッフの方も、沢山の資料を用意され、わかりやすく説明して下さり、勉強になり、また安心もします。いつもこれだけ用意されるのは大変でしょうが、市場の動きに動揺せずに安心できます。(50代・女性)

情報開示をいただけることで納得してお任せできるため。また、プロフェッショナルかつ親しみやすさの両立が完璧のため。(50代・女性)

【札幌】コモンズ投信15周年感謝のつどい～自分にも、社会にも、いい投資～

一方的に参加者に知識や思いを伝えるという事ではなく、参加者からも思いを引きだそうとする姿勢が感じられる点。

伊井さんのお話のなかで「ESG投資」「インパクト投資」「寄付」のお話があった時に、「cotocoto」を設定することにより一般の投資家が全てに参加出来る状況が更に整ったと感じました。(50代・男性)

楽しかったので時間があっという間に過ぎてしまいました。

発言もしましたが、日本はもっと投資を身近にすべきであり、色々問題はあるもののNISAの効果は大きいと思います。コモンズとともに、これからの子供達が投資に対しての正しい知識や投資に理解のある環境が広がると、私達の未来にとっても頼もしい支えになると思います。(60代・女性)

パラ馬術大会をみんなで観戦@JRA馬事公苑

馬事公苑で放送席(室)に入れていただき、解説までお聞きしながら観戦できるという貴重な機会を頂くことができたため。本日は、大会開催中の変な中、競技の解説をお聞きできて、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。(50代・女性)

ふわっとした前知識で参加しましたが、演技の際の馬の状態や見方など採点基準や仕組みなど解説をしていただいたことでとても楽しめました!

馬術競技自体にふれること、観戦など初めてのことばかりでしたが、河野事務局長さんの解説、合間の時間の会長さんのお話などすべて初めてのことばかりでとても興味深く、もっと見ていたい!と思ったほどでした。選手の方々とお会いしたりはできませんでしたが、今後はとても身近に感じて陰ながら応援させていただければと思います!ありがとうございました。(50代・女性)

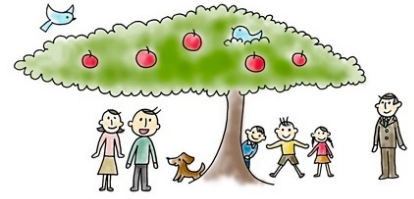


お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>



◆2024年10月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/h6KvpSD-igQ>



□【京都】コモンズ投信15周年感謝のつどい
～自分にも、社会にも、いい投資～

11月9日（土）13:15～15:45

□【福岡】コモンズ投信15周年感謝のつどい
～自分にも、社会にも、いい投資～

11月24日（日）13:00～15:30

□【会場開催！】こどもトラストセミナーおかねの教室

11月17日（日）9:30～10:30

□「伊井さん、何でも聞いていいですか？」

11月17日（日）11:00～12:00

□コモンズの視点～企業のミカタ～
デクセリアルズのご紹介

11月27日（水）20:00～20:30

□コモンズ30熟統合レポートワークショップ
投資先企業「丸紅」との対話

2025年1月9日（木）19:00～21:00

☆アーカイブ動画を[YouTube「COMMONSTV」](#)にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

・モーニングスター・ファンド・アワードについて

アワードは、リスク調整済みの中長期的なパフォーマンス実績と、ファンドの将来に関するモーニングスターの評価であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。アワードは毎年行われており、ファンドの1年間のパフォーマンスを重視するのは適切であると考えていますが、ファンドはリスクを調整後の3年および5年で高い相対リターンを達成している必要もあります。また、長期的にアウトパフォームし続ける潜在力についての将来的な評価を反映するため、モーニングスターのメダリスト・レーティングでポジティブ（金 / 銀 / 銅）の評価を得たファンドを選出の際に優先します。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティール証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○

当ファンドは、NISA制度における「つみたて投資枠」「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第3号	○			
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第5号	○	○		
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長 (金商) 第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第1号	○	○		
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第41号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○	○		
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第191号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		

当ファンドは、NISA制度における「つみたて投資枠」「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3283号	○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○	○	○
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○			
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長 (金商) 第18号	○			
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第3号	○			
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第19号	○			
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第7号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第14号	○			
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第199号	○			
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2883号	○			
中南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第195号				
はくさん信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第35号				
西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第162号	○			
愛媛信用金庫	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第15号				
鹿児島相互信用金庫	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第26号				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第16号	○			

当ファンドは、NISA制度における「つみたて投資枠」「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



コモズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク

当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

為替変動およびカントリーリスク

外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2009年1月19日
	信託期間	無期限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-5860-5706
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>